

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 サカタインクス株式会社
コード番号 4633 URL http://www.inx.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森田 耕太郎
(氏名) 宮田 明夫

TEL 06-6447-5823

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	32,475	7.6	1,900	48.7	2,105	30.9	1,320	105.2
25年3月期第1四半期	30,187	2.8	1,277	14.4	1,608	4.7	643	△34.1

(注)包括利益 26年3月期第1四半期 3,691百万円 (242.1%) 25年3月期第1四半期 1,079百万円 (8.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	21.82	—
25年3月期第1四半期	10.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	105,087	48,850	45.4
25年3月期	99,649	45,533	44.7

(参考)自己資本 26年3月期第1四半期 47,680百万円 25年3月期 44,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,200	8.6	3,300	27.6	3,700	19.8	2,150	36.3	35.53
通期	135,500	10.1	6,700	15.7	7,600	11.6	4,600	△17.7	76.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 一社 （社名） 、 除外 1社 （社名） INX Digital International Co.
（注）詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
 - ④ 修正再表示 ： 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年3月期1Q | 62,601,161 株 | 25年3月期 | 62,601,161 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期1Q | 2,090,587 株 | 25年3月期 | 2,089,888 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年3月期1Q | 60,510,710 株 | 25年3月期1Q | 60,515,019 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、当社および国内子会社が3月であるため、当第1四半期については、海外子会社（インドを除く）が2013年1～3月、国内会社およびインド子会社は2013年4～6月を対象として、記載しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、欧州債務問題の長期化の影響などにより、アジアにおいても成長のペースが鈍化するなど、全体として弱い回復が続きました。日本経済は、デフレ脱却に向けた経済対策や金融政策に対する期待感から円安・株価回復の傾向となり、景気回復に向けた動きがみられたものの、実体経済への波及には至っておらず、海外景気の下振れリスクが懸念されるなど厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、アジアを中心とした各拠点での拡販に注力するとともに、環境に配慮した高機能・高品質製品や地域密着型製品の開発、TPM活動の水平展開による低コスト化に取り組みました。一方、機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液などの開発・拡販に取り組みました。さらには、持続的成長を果たすために、国内の全社的な生産・物流体制の再構築および今後の機能性材料事業への対応を目的として、滋賀の新工場建設を進めました。

売上高は、アジアを中心に印刷インキの拡販が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことから、324億7千5百万円（前年同期比7.6%増加）となりました。

利益面では、徹底したコスト削減や機能性材料の復調が寄与したことに加え、為替換算の影響を受けたことなどから、営業利益は19億円（前年同期比48.7%増加）、経常利益は21億5百万円（前年同期比30.9%増加）となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損が減少したことから、13億2千万円（前年同期比105.2%増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

（単位：百万円）

	売上高					営業利益又は営業損失（△）		
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額
印刷インキ・機材（日本）	14,393	14,280	△112	△0.8%	△0.8%	870	863	△7
印刷インキ（アジア）	4,452	5,575	1,123	25.2%	6.4%	183	451	267
印刷インキ（北米）	6,908	7,932	1,023	14.8%	△1.1%	40	322	281
印刷インキ（欧州）	1,443	1,673	229	15.9%	1.8%	52	26	△26
機能性材料	1,380	1,616	235	17.1%	10.4%	△0	129	129
報告セグメント計	28,579	31,078	2,499	8.7%	0.9%	1,148	1,793	644
その他	3,262	3,056	△205	△6.3%	△6.3%	93	63	△30
調整額	△1,653	△1,659	△5	—	—	35	43	8
合計	30,187	32,475	2,288	7.6%	0.3%	1,277	1,900	622

(※)実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

①印刷インキ・機材（日本）

印刷情報関連では、需要の伸び悩みや競争激化の影響を受けて、新聞インキ、オフセットインキともに前年同期を下回りました。パッケージ関連では、飲料、食品関係の堅調な需要に支えられ、フレキシソインキ、グラビアインキともに前年同期を上回りました。機材につきましては、前年同期並みとなりました。これらの結果、売上高は142億8千万円（前年同期比0.8%減少）となりました。

利益面では、コスト削減に取り組んだものの、原材料高の影響を受けたことなどから、営業利益は8億6千3百万円（前年同期比0.8%減少）となりました。

②印刷インキ（アジア）

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、全般的に堅調に推移しました。また、印刷情報関連であるオフセットインキの拡販が進みました。売上高は、円安による為替換算の影響を受けた結果、55億7千5百万円（前年同期比25.2%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加やコスト削減が寄与したことに加え、為替換算の影響を受けたことから、営業利益は4億5千1百万円（前年同期比145.6%増加）となりました。

③印刷インキ（北米）

オフセットインキは、メディアの多様化による需要減の影響を受けて、低調に推移しました。主力のパッケージ関連では、北米や中南米などでのパッケージ需要の高まりを背景として、フレキシソインキ、グラビアインキおよびメタルインキがそれぞれ堅調に推移しました。売上高は、円安による為替換算の影響を受けた結果、79億3千2百万円（前年同期比14.8%増加）となりました。

利益面では、生産効率化などによるコスト削減が寄与したことに加え、為替換算の影響を受けたことなどから、営業利益は3億2千2百万円（前年同期比690.5%増加）となりました。

④印刷インキ（欧州）

欧州債務問題の深刻化に伴い、依然として景気が低迷する中で、主力であるパッケージ関連のフレキシソインキ、グラビアインキは拡販が進みましたが、全体としては伸び悩みました。売上高は、円安による為替換算の影響を受けた結果、16億7千3百万円（前年同期比15.9%増加）となりました。

利益面では、販売コストの増加により、営業利益は2千6百万円（前年同期比50.2%減少）となりました。

⑤機能性材料

デジタル印刷分野では、トナーは需要が低迷する中、前年同期を上回ったものの、インクジェットインキは競争の激化に伴って欧米での販売が振るわず低調でありました。画像表示材料分野では、市場環境が厳しい中、カラーフィルター用顔料分散液の拡販が進みました。これらの結果、売上高は16億1千6百万円（前年同期比17.1%増加）となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、のれんの償却額の負担がなくなったことから、営業利益は1億2千9百万円（前年同期は0百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、時価評価による投資有価証券の増加や前渡金の増加に加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、前連結会計年度末比54億3千8百万円(5.5%)増加の1,050億8千7百万円となりました。

負債は、未払費用や前受金の増加に加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、前連結会計年度末比21億2千1百万円(3.9%)増加の562億3千7百万円となりました。

純資産は、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末比33億1千6百万円(7.3%)増加の488億5千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月13日に公表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

INX Digital International Co.は、連結子会社であるINX International Ink Co.に吸収合併されたことにより消滅したため、当第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,861	5,707
受取手形及び売掛金	38,197	39,092
商品及び製品	6,290	6,981
仕掛品	792	798
原材料及び貯蔵品	4,934	5,114
その他	1,583	3,051
貸倒引当金	△436	△432
流動資産合計	57,222	60,313
固定資産		
有形固定資産	22,894	23,318
無形固定資産		
のれん	96	98
その他	1,061	1,151
無形固定資産合計	1,158	1,250
投資その他の資産		
投資有価証券	16,750	18,528
その他	2,275	2,279
貸倒引当金	△651	△602
投資その他の資産合計	18,373	20,205
固定資産合計	42,427	44,774
資産合計	99,649	105,087
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,294	22,920
短期借入金	5,788	6,606
1年内返済予定の長期借入金	5,017	4,072
未払費用	2,932	3,734
未払法人税等	1,048	691
賞与引当金	1,068	550
その他	2,443	3,325
流動負債合計	40,592	41,900
固定負債		
長期借入金	7,835	8,216
退職給付引当金	2,876	2,878
資産除去債務	71	71
その他	2,740	3,170
固定負債合計	13,522	14,336
負債合計	54,115	56,237

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,672	5,672
利益剰余金	38,084	39,060
自己株式	△640	△640
株主資本合計	50,589	51,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,891	2,455
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	△7,969	△6,340
その他の包括利益累計額合計	△6,079	△3,885
少数株主持分	1,024	1,170
純資産合計	45,533	48,850
負債純資産合計	99,649	105,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	30,187	32,475
売上原価	23,582	24,918
売上総利益	6,604	7,556
販売費及び一般管理費	5,327	5,656
営業利益	1,277	1,900
営業外収益		
受取利息	16	15
受取配当金	130	131
持分法による投資利益	217	122
その他	96	98
営業外収益合計	460	367
営業外費用		
支払利息	110	83
為替差損	4	49
その他	14	29
営業外費用合計	129	162
経常利益	1,608	2,105
特別利益		
投資有価証券売却益	6	6
特別利益合計	6	6
特別損失		
投資有価証券評価損	376	0
有形固定資産除却損	31	—
特別損失合計	407	0
税金等調整前四半期純利益	1,207	2,111
法人税、住民税及び事業税	774	820
法人税等調整額	△243	△109
法人税等合計	531	710
少数株主損益調整前四半期純利益	676	1,401
少数株主利益	33	80
四半期純利益	643	1,320

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	676	1,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△497	545
為替換算調整勘定	490	1,035
持分法適用会社に対する持分相当額	409	709
その他の包括利益合計	402	2,290
四半期包括利益	1,079	3,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,000	3,515
少数株主に係る四半期包括利益	78	176

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	14,382	4,437	6,434	1,433	1,358	28,047	2,140	30,187	—	30,187
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	14	474	10	22	531	1,121	1,653	△1,653	—
計	14,393	4,452	6,908	1,443	1,380	28,579	3,262	31,841	△1,653	30,187
セグメント利益又は 損失(△)	870	183	40	52	△0	1,148	93	1,242	35	1,277

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額35百万円には、セグメント間取引消去81百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△46百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役務提供費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	14,272	5,556	7,446	1,658	1,590	30,523	1,951	32,475	—	32,475
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	18	486	15	26	554	1,105	1,659	△1,659	—
計	14,280	5,575	7,932	1,673	1,616	31,078	3,056	34,134	△1,659	32,475
セグメント利益	863	451	322	26	129	1,793	63	1,856	43	1,900

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額43百万円には、セグメント間取引消去88百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△44百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役務提供費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。